

「いじめ」根絶に向けて

6月に県教育委員会から発表された公立学校におけるいじめアンケートの結果によると、小・中学生合わせて15,745人(10.3%)が「今の学年になっていじめられたことがある」と答えています。

「いじめ」の実態

また、「今もいじめが続いている」と回答した小・中学生が4,862人(30.8%)もいます。いじめの実態はさまざまですが、「ひやかし・からかい」「仲間はずれ」「物をかくす・汚す」などが多いという結果が出ています。

学校での取り組み

いじめ根絶のために町内の各学校でもさまざまな取り組みが進められています。いじめ根絶の意識を高めるための標語募集や児童一人一人と語り込む教育相談、人権を守ることにについて学ぶ授業等です。

ある小学校では、学習したことを伝え合い、自分と同じように友達を大切にしようという思いを共有するための全校集会が開かれました。1年生は、自分の名前が付けられたわけを親から聞き取り、名前に込められた思いをうれしそうに発表しました。そして、自分の名前を大切にするとともに、友達を呼び捨てにしないことを誓いました。

また、よりよい解決ができるようにスクールソーシャルワーカー等の外部機関と連携するとともに、保護者の方もいつでも相談できる体制づくりを進めています。

★益城町内の児童生徒が作った標語

- (小一) あそぼうよむかっつて
- (中一) 知らんぷり無へして
- いじり自分から

「いじめ」根絶に向けての大人の役割

先のアンケートでは、「いじめ

が続いている」と回答した小・中学生のうち31.8%が「だれにも相談していない」としています。理由は、「相談すると余計ひどくなる」「自分の弱いところを見せたくない」「親が悲しむ」等です。

いじめは、自分で解決することが難しく、結果、いじめが続くことになっていることがうかがえます。ですから、私たち大人は、子どもたちに家庭や学校の誰かに相談することが解決への近道であることを伝え続ける必要があります。

また、服装や態度、言動などの変化を子どもが発信するSNSと捉えられるよう、子どもたち一人一人にしっかりと目を向けることが大切です。その上で、「大人に相談したので解決できた」との思いを子どもたちに持たせることができるよう、いじめの根絶に向けてさらに真剣に取り組みなければなりません。いじめを根絶し、すべての子どもたちが笑顔で、楽しく生活できる益城町に！

●益城町では、「いじめ電話相談室」(専用回線286-11770)を設置し、問題の早期解決が図られるようにアドバイスをを行っています。

益城町教育委員会

あまのこの地名漫歩

歴史の変遷と地名

336

矢嶋姉妹周辺②

矢嶋鶴子の夫の直明は、天保14年6月、湯浦手永御惣庄屋当分(候補)から中山手永御惣庄屋として栄転し、水路開鑿・水田開発・山鹿団扇の技術導入など産業振興に尽力し、郷民の感謝が「天嶋祭」の起源ですが、次の四孝子の碑の建立は教育行政の一つです。

40年前に採掘した拓本から原文のまま紹介しますが、当時の文字違い、仮名遣いが現在と違う部分があるため参考にルビをかりました。

【四孝子の碑】

「益城郡中山の郷系原村に兄弟四人乃孝子有けり、父八者やく死て一人の母なん有希る。四人の子共其母事心る事居實実なり介里各一所家徒くり各妻をも持有けるにその妻其夫々



四孝子の顕彰碑

の心を心として睦み親ミ姑尔つ我ふる事知らざる古となかりけり。母殊更尔佛を尊み介るに歳老いては、程隔里たる寺に詣ん古とのくるしかり介れ者、四人は宅地の中本とに持佛堂を安置して四人の子共四人の婦して厚く拘て詣てさせけり。母の住所は四人の中古々路(※1)のままとして有介けるが遂尔季子(※2)の許尔居定けりされ者残三人の子共相斗て更に田地を求免母越屋しなふの料として季弟(※3)尔とらせその地の貢物は三人して辨介り(後半は次号に掲載)

《原文には句読点は全くないため、筆者が適宜句読点を挿入》

- ※1 古々路＝心
- ※2 季子＝末子
- ※3 季弟＝末弟

益城町文化財を訪ねる会
会長 松野國策